

プノンペンには日本料理の店が今では数多くあります。始めるのはわりと簡単なのですが、多くは長く続かずに1年と待たずに閉店する店も少なくありません。なかなかよさそうなお店ができたな〜と思って、やっと時間ができて数か月後に行ったらもうなかった、という経験が何度もあります。

日本食に限らずですが、こうした状況を見ていると、やはり飲食店を定着させるというのは、思ったよりも簡単なことではないということがよくわかりますね。



今回のお客さん紹介は、レストランをリニューアルオープンするミアス・ソカンさんです。

プノンペン空港に面する大通りから、ちょっと入ったところに、写真のようないかにもカンボジアっぽい感じの寄せ鍋屋さんを準備中です。



これまでは居酒屋のようなお店をやっていたのですが、今回リニューアルして椅子やテーブルはすべて取り払い、オープンの座敷で家族や友人たちで寄せ鍋をつつきながらくつろげるお店に改装しました。真新しいハンモックがなんともいい感じを醸し出しています。

これまでは仕事帰りの人がバイクで寄って一杯やるような店でしたが、時代の流れとともに、車で来店する家族や友人連れでのお客さんをターゲットにと切り替えたということで、駐車スペースもそれに合わせて十分な広さを用意しています。なるほど、カンボジアの富裕層だけでなく、一般の人たちも家族連れで車で来られるようになってきているというわけですね。



ただ、今回のこのライスマ通信にはオチが付いています。私はレストランの改装のためにライスマが融資したとばかり思っていたのですが、店の改修でお金がなくなってしまったご主人が新しいスマホを買うお金が足りない！ということで iPhone を買う資金を我がライスマが融資したということでした・・・まあそれもファミリービジネス成功のため、家族のために頑張ったご主人にご褒美、ということで、これもまた我々のいい仕事のひとつと言えるでしょうか（笑）まあ、たまにはこういうのも生々しくていいかなと思って書いてみました。

2019年12月26日

磯部正広